

今年も燃えた！全国かぶと虫相撲大会



今年で22回目を迎えた全国かぶと虫相撲大会が7月22日に総合体育館で開催されました。今年には298人の小学生以下の子どもたちが県内外からトーナメント戦に参加。熱気あふれる会場では「最強横綱」を目指し、白熱の取り組みが繰りひろげられました。



「全国かぶと虫相撲大会」（日本かぶと虫相撲協会主催）は、ひまわり温泉ゆ・らや4月にオープンした町立図書館「ほんわ館」を中心とした「ひまわり元気のさと」への誘客と、町の観光振興、イメージアップを図るイベントとして毎年開催しているもので、今年で22回目となります。

参加した子どもたちは自分で育てた自慢のかぶと虫や会場で購入したかぶと虫で大会に出場しました。熱気ムンムンの体育館では12ブロックに分かれたトーナメントで、それぞれのブロックの行司の「はっけよーい、のこった！」の声で取り組みが始まると、子どもたちの「いけ！いけ！」というかぶ

と虫への声援や木の土俵を棒でたく音で一気にヒートアップ。45秒の制限時間内に、より土俵の上の方にいたかぶと虫が勝ちとなり、土俵から落ちたり、飛び立ってしまうと負けとなってしまいます。

なかなか動かなかったり、途中で飛び立ってしまうなど、思ったとおりの動きをしてくれないかぶと虫に悪戦苦闘する姿も見られましたが、そのたびに観客からは大きな声援や笑い声が上がっていました。

また、残念ながら一度負けてしまっても「敗者復活戦」に勝てばブロックトーナメント本戦に復活できるとあって、負けてしまった子どもも何試合も楽しむことができました。

最強横綱!!

まさかこんなに勝るとは思わなかったけど、最強横綱になれてうれしい。来年は自分で育てたかぶと虫でまた横綱を目指したいです。

最強横綱戦は森岡七海君（山形市）の「ヘラクレス」と杉沼凜穂さん（寒河江市）の「リリン丸」の対戦。熱戦のすえ、森岡君の「ヘラクレス」が土俵の上に逃げ切り、みごと最強横綱に輝きました。

参加受付で購入したかぶと虫で敗者復活から勝ち上がり、みごと最強横綱に輝いた森岡七海君と「ヘラクレス」。



会場内では相撲トーナメント戦の戦いが終わった子どもたちが「木のぼりレース」や「かぶと虫リレー」、屋外ではミニSL試乗会、売店などを訪れ、各会場には人だかりができていました。

また、今回の大会では新たに「名勝負ホームビデオコンテスト」を開催。これは参加した子どもの保護者からかぶと虫相撲の名勝負を撮影したものを応募してもらおうというものです。コンテスト審査後、入賞者は賞品が出るとあって、子どもを応援しながらも必死で名勝負を撮影しているお父さん、お母さんの姿がありました。

さらに、今年から新たにスタンプラリーを開催。「ほんわ館」でプログラムにスタンプを押し、「ひまわり温泉ゆ・ら」や「Oっと」に持って行くとソフトクリームがもらえるというイベントも開催され、「ひまわり元気のさと」周辺は大いに賑わい、今年も「全国かぶと虫相撲大会」は子どもたちにとって夏の楽しい思い出となりました。



木のぼりレース



ミニSLも大人気



かぶと虫リレー



ほんわ館でスタンプを押し、Oっとやひまわり温泉ゆ・らでソフトクリームゲット！